

## 2021・中学校「アーニャは、きっと来る」

## 【非推奨】

□この本は第二次世界大戦中、フランスのピレネー山脈の小さな村に住むジョーのお話です。私は第二次世界大戦 / ナチス・ドイツ / ユダヤ人の迫害 について あまり詳しく知りませんでした / 授業で勉強しました / とても興味を持ちました / 今回初めて知りました / はじめて知ることがたくさんありました。

□ドイツ軍はイギリス、フランス各地に影響を与えました / 侵攻していきました。今、私たちの生活の中で戦争や軍隊による占領について考える機会は だと思えます。

この本を読んで、もし自分にこのようなことが起きたらと考えると、 だと思いました。

□この物語は本当にあった話ではないけれど、ナチス・ドイツから逃れようとたくさんの人が、危険をおかして国境を越えたということは 事実 / 本当にあったこと です。私は だと思いました / だと感じました。

□戦争を嫌っても / 憎んでも 村に来た軍隊に従わなくてはいけないということは、 だと思いました / だと感じました。

私も【納得してなくても従わなくてはいけなかった出来事 / 多数の意見に従わなくてはいけなかった体験】

①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように / どのくらい・なぜ / どうして ③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか ということがありました。そのこと / 体験から だと思いました / という気持ちがわかります。

□ユダヤ人だというだけで迫害される / 理不尽な思いをする / ひどい仕打ちを受ける ことは、 だと思いました / だと感じました。

□私も【悲しい思い出を話したくないと感じたこと / つらい・思い出したくない出来事を話せなかった体験】 ということがありました。

①状況の説明 ②行動 ③状況 そのこと / 体験から、(つらいことはいつまでも心に残る / 平気だと思っても悲しい記憶は簡単には消えない / ひどい思い出は時間が経っても / どんなにつらいことでも / だと思いました / という気持ちがわかります。

□私はこの本を読みながら、もし戦争のおそろしさ / ユダヤ人が迫害されたこと / 軍隊に支配される恐怖 を、 たくさんの人に / 後世の人に / 若い世代の人たちに 伝えることがなかったらどうなるのだろうか考えました。

□今、日本人のほとんどの人が戦争を体験していません。私は「平和」であることがあたりまえだと 考えずに / 感じることなく、 だと思いました / だと感じました。